

T・Kさん（文化情報コース）

株式会社 滋賀富士通ソフトウェア 内定

### 1. 就職活動を始める時期について

できる限り早く始めましょう。ただ、やりたいことが定まっている人と定まっていない人では始め方が異なります。そのため、定まっている人と定まっていない人それぞれにアドバイスを書きます。

定まっている方へ

インターネットや雑誌などを通して、志望業界の情報を出来る限り集めてください。また、時間があればその業界で役立つ資格を取得してください。もし、役立つ資格が分からなければ、運転免許の取得をオススメします。

定まってない方へ

合同説明会に足を運んだり、新聞を読んだりして新しい情報に対してアンテナを張ってみてください。もし、家が新聞を購読していなければ、「Google news」などを活用してください。情報に対してアンテナを張ることで自分に向いている業界を見つけられるでしょう。

### 2. 合同説明会について

無理に行く必要は無いです。理由は、合同説明会に参加しても企業の選考に進むことができないからです。企業の選考に進むには各々の企業が開催する企業説明会に参加しなければなりません。合同説明会に参加するために交通費や時間を使うのであれば、SPI対策や業界研究に専念したほうが就職活動のためになります。

### 3. エントリーシートについて

エントリーシートに書くことはどの企業でもだいたい同じです。例えば、自分の研究のこと、志望動機、PRポイントなどが挙げられます。ただ、企業によってエントリーシートのフォーマット（形式）が異なるので気をつけてください。エントリーシートを書く際に気をつけて欲しいことは以下の通りです。

#### ・できる限り単文でエントリーシートを書くこと

できるだけ1つの文を単文にして書いて欲しいということです。単文とは、主語・術後の関係が1回だけで成り立っている文のことです。例えば、「鳥が鳴く」「犬が速く走る」などが挙げられます。文が重文や複文になると、構造が複雑になってきます。そのため、主語・述語の関係がハッキリしなかったり、おかしい構造の文を書いてしまうこととなります。当然、おかしい構造の文を書く企業に対する受けは良くないです。複雑な文を書くことができるのも大切ですが、単文で書く事に徹底してください。

#### ・書いた文章を音読すること

単文で文を書いていけば、構造的におかしい文を書くことはなくなってきます。ただ、前後の文との繋がりや誤字脱字を減らすことは難しいです。そのため、書いた文章は音読してください。正直、この作業はとて面倒な作業になります。ただ、この方法が文脈を判断したり誤字脱字をチェックするには一番良い方法です。なので、必ず完成したエントリーシートは音読してください。

#### ・時間が許すのであればエントリーシートを寝かせること

提出期限に余裕があるのであれば、書いたエントリーシートを1日放置してください。そして、もう一度音読してみてください。最初に音読したときには気づけなかった間違いに気づくことができます。また、より良い文を書くことができるようになります。

#### **4. 面接について**

面接対策で重要なことは以下の通りです。

- ・入室の練習  
これはインターネットを活用したり、就職活動本を読んで自分の部屋で練習しました。やはり、入室のマナーができていないと企業への受けは良くないでしょう。
- ・一般的な質問への対策  
インターネットや就職活動本を調べてみると、面接でよく聞かれる質問が掲載されています。そこに掲載されている質問に対して、どういった切り返しをするのか考えておいてください。
- ・企業研究  
企業研究をしておくことはマストです。その企業の強みや特徴に関連した質問に答えられないと、本当に志望しているのか疑われるからです。面接の前にはマイナビやリクナビの企業紹介のページを熟読しましょう。できれば、それらのページを印刷しておきましょう。スマートフォンの電池がなくなった時などに対応できるからです。

#### **5. 就職活動を通して**

就職活動を通して多くのことを勉強しました。例えば、業界がどういう構造をしているのか、社会がどうやって回っているのか、自分がどういうことをしたいのかということです。そのため、就職活動は自分の成長には欠かせないものだと思います。今頑張ったことは必ず将来に生きてきます。就職活動は大変ですが頑張ってください。

Y・Yさん（文化情報コース）  
株式会社ハートフレンド 内定

【私の就職活動の流れ】

- 2011年6月～11月：大学で開催されていた就職活動のガイダンスを受講するとともに就職サイトに登録するも特に何かをするわけでもなく放置していました。
- 12月：合同説明会や個別の会社のセミナー（選考とは異なる）がスタートしました。私は会社をブックマークしたり、SPI2の勉強をしたり、自己分析をしたりしていました。
- 2012年1月～2月：個別の説明会が始まる。  
エントリーシートの提出（書類選考）が始まる。  
それに伴い筆記試験（SPI2、一般常識、玉手箱）やグループディスカッションなど1次選考や2次選考を受ける。
- 3月：面接（集団面接、個人面接）が始まる。
- 4月：第一志望だった会社の最終選考を受けるが、落選する。
- 5月～11月：就職サイトやハローワーク（ヤングジョブセンター）を利用し、説明会に参加→選考に参加を繰り返す。
- 12月：内々定をいただいたので、就職活動を終了する。

【私の就職活動に対するアドバイス】

- ・就職活動に対する姿勢について
  - ①自分から積極的に行動する  
就職活動は待ってはいけません。大学での就職ガイダンスが始まる前から筆記試験対策をするとか本を読んだり、ネットで調べたりして業界研究をするなど、進んで行動することが重要です。
  - ②手を抜かない  
情報収集（説明会の情報など）、業界研究、筆記試験の勉強、自己分析など就職活動全般に対して妥協しないということです。就職活動においてここまでしておけば大丈夫というラインはないです。しっかりと準備している学生とそうでない学生の差ははっきりします。
- ・エントリーシート・履歴書について
  - ①字は汚くても読み手のことを思って一生懸命に書く  
人事の方は膨大な数のエントリーシートに目を通されます。気持ちが込められていない汚い字のエントリーシートは見るのも嫌でしょう。
  - ②他人に見てもらい、アドバイスをもらう  
私の場合はアルバイト先の上司です。書いたものを見ていただき、指摘していただいた箇所を書き直し、また見ていただきということを繰り返しました。他の人に見てもらうことで自分では気付けない改善点が出てくるかもしれません。
- ・筆記試験について
  - ①SPI2は勉強する  
私が受けたほとんどの企業ではSPI2でした。多くの企業で採用されているテスト方式です。
  - ②SPI2以外も勉強する  
企業によってはSPI2以外のテスト方式が採用されているところもあります。重要なのは自分が受ける企業がどのテスト方式なのかを理解しておくことです。
- ・グループディスカッションについて
  - ①姿勢を良くして、議論に参加する  
議論の場では話し合いに参加する姿勢が見られています。足を組んだり、ペンを回したりす

るのは人の話を聞く姿勢ではなく、印象が最悪です。

②発言をする

議論の場ですから、当然発言をしなければいけません。他の人の意見に賛同したり、付け加えたりするだけでもかまいません。何かしら発言してください。

・面接について

①事前準備をする

面接の前日には自分が書いたエントリーシートを見て、質問事項（自己PR、志望動機など）を想定しておくなど事前準備が必要です。何も考えなくても面接の場で対応できる人は良いのですが、少なからず緊張するものです。ある程度準備をして面接に臨むことで頭が真っ白になりません。

②自信を持つこと

自信とは表情、声、行動に表れます。笑顔で、はっきりとした口調で、きびきびと行動しましょう。私の場合は声が小さく、自信がないように受け取られることが多かったです。声が小さいとたとえ話す内容が良かったとしても相手にしっかりと伝わりません。私は常に声を意識し、「声を大きく、声を大きく」と心の中で呟いていました。

【私の就職活動を振り返って】

私は就職活動において後悔をたくさんしてしまいました。12月のスタートまでにきちんと準備をしなかったこと、第一志望の企業1本に絞り、そこがダメだった場合を考えていなかったこと、業界を絞り込み過ぎていて、受けた企業がととても少なかったことなど就職活動が終了した今から考えるとたくさん思い浮かびます。これらの後悔は全て自分の就職活動に対する甘い考えが招いたことです。心のどこかで3月の卒業までにはどこかに就職できるであろうという考えがありました。このように思っている間は就職なんてできるはずがありません。みなさん、気を引き締めて本気で取り組んでください。みなさんがそれぞれ納得のいく就職活動ができることを願っています。

○・Aさん（環境教育課程）

滋賀銀行 内定

#### ■就職活動の流れ

2011年～

夏ごろから、就職活動サイトで企業情報やインターシップ活動などが盛んとなる。

12月 企業のエントリー・合同説明会が本格化される。

2012年～

1月 エントリーシートの提出が始まる。1月は食品系のエントリーシートが多い。セミナーが増える。

2月 金融系のエントリーシートはこの頃から。2月が最も企業別の説明会が多い。

3月 企業別の筆記試験やWebテストが多い。履歴書持参の説明会も多数あり。

4月 集団・個人面接、グループディスカッションが本格的に始まる。

金融の面接スピードは非常に速い。

下旬頃、いくつか内定をいただく。

#### ■就職活動の内容

「筆記試験・Webテスト」

企業によって問題傾向はさまざま。一般的にはSPIの問題がほとんどなので、参考書などで問題慣れしておく方が良い。企業によっては英語が出ることもある。受験方法は、企業先・自宅・テストセンターの3つのどれかである。

「面接・グループディスカッション」

私の就職活動では、ほとんどの面接が個人だったので個人面接の内容に少し偏る。アドバイスとしては、自分の言葉でしっかり話すこと。面接官の人と会話することを心がけるのが良い。志望動機や自己PRなどは、暗記していることが多いためすらすらと言いやすが、その他の質問になると止まってしまったり話がちぐはぐになったりして、会話が詰まってしまう。

例えば「学生時代どのようなことを頑張りましたか？」という質問の後に予め用意していた答えを用意したとしても「そこであなたはどんな役割を果たしたか？」「うまくいかなかった時はどうしたか？」「周りはどうしていたか」など深いところにまで突っ込まれることが多い。面接での対応が不安な方は、全て話を暗記しておくのではなく、この質問が出たらこの話といったようなキーワードで用意しておくことをおすすめする。

集団面接では、自分の発言だけでなくほかの人の対応も見たり聞いたりすることが重要。周りへの関心や同調なども見られるため。また、集団面接では個人の発言時間が決められている（一つの質問に対して、1人1分など）ことが多いので、その時だけは、志望動機や自己アピールなどを時間内に話せるように用意しておくが良い。

グループディスカッション(以下GD)は、約5～10人で行われる。司会者、記録者、時間管理者など役割を決めて行うものもあれば、何も決めずに行うものと企業によって分かれる。私は主に、何も決めずに自由にGDをすることが多かった。GDは司会者などの役割につく方が有利といわれることもあるかもしれないが、それは関係ない。皆の意見を聞くことももちろんであるが、意見を聞いた上で次にどうするか、どのように結論に持っていくか、現時点での話の内容を参加者全員が理解しているかなどを考えながら発言することも大切だと思う。

#### ■さいごに

滋賀大学の教育学部は、あまり企業就職の情報が豊富ではないため、他大学に比べると情報量や大学の活用頻度が劣るので、その分さまざまなところに、足を運び、行くことをおすすめします。

説明会や面接などで出会う同じ就職活動の人々とたくさん話し、情報交換すると良いです。面接時間は、企業によって15分のところもあれば、個人で1時間弱といったところもあります。緊張するとは思いますが、おどおどしたり目線を下げたりせず、自信を持って会話することを心がけてください。就職活動は大変ですが、新しいことを多く知ることができます。頑張ってください。